

きらめき 資料4-5

北斗市立大野中学校
研 究 部 号
第 4 号
2018.8.29

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり

～資質・能力の「三つの柱」の育成を目指して～

【めあて】研究授業を振り返り、明日からの授業に活かそう。

8月校内研修内容

- 授業を振り返って
 - ・指導案作成について
 - ・授業を終えて
- 事後研修
 - ・付箋にまとめる
 - ・各グループで発表

□板書に「学習課題」・「まとめ」を活用している。

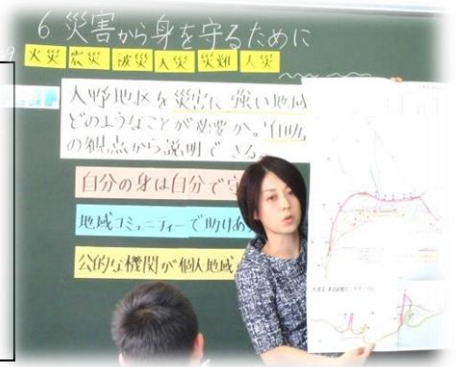
●8月の振り返り

- 学習の約束について指導している。
- 家庭学習の方法について具体的に指導している。
- グループやペアでの活動形態を取り入れている。
- 役割や責任を生徒に意識させたペアやグループ活動を行っている。
- ピアサポートやクラス会議など関わり合う場を意図的に作っている。
- ICT機器を効果的に活用している。

ミニ校内研<2A 社会 中村 T>

<ICTの活用>

- 一人一台タブレットを持つことで全員参加出来る授業だった。
- 日頃から使用しているため、操作もスムーズに出来ている。
- 地図を拡大したり航空写真で検索したりと効果的に利用していた。
- 過去の災害を知るのも良かった。
- 地図記号の読み取りが出来ていない生徒が数名。既習事項の確認をする。
- タブレットと紙では、どちらで見せるのが効果的だったか



<課題の設定>

- 学習課題が1時間の学習過程を表していて、見通しが持てる授業だった。
- 地域をからめた授業。「学びに向かう力」が見えた授業だった。
- 調べる、話し合う活動があっても良かったのでは。
- 対話的な学びがあるとより深まる。

<見通しをもたせた導入>

- これから何の勉強をするのかというウォーミングアップがしっかり出来ている。
- “大野地区”という身近な題材で興味をもって活動していた。

<知識・理解>

- 地形図の読み取りに時間がかかった。
- 生徒の実態から発問を考える。「～が自助」と言葉の説明

<評価の仕方>

- ワークシートも使いながらの評価は効果的であった。
- どこまで出来たら A 評価なのか、生徒にしっかり伝えている。伝わっている。
- ゴールが明確であった。



校内授業の日程が
決定しました。
今後の日程です。

第1期	9月3～14日	①鈴木彰	②山本幸	③西村
第2期	10月2～23日	①明田	③須賀	③高田
第3期	10月25～11月5日	①金子	②野登・鈴木亮	③山本伸
第4期	11月29日	情報研 …	中村・三笠	田中・上原
第5期	11月30～12月18日	①佐藤	②藤田	②高橋